【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【公表番号】特表2005-537113(P2005-537113A)
【公表日】平成17年12月8日(2005.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2005-048
【出願番号】特願2004-535201(P2004-535201)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｊ　31/40　(2006.01)
Ｇ０７Ｆ　13/10　(2006.01)
Ｂ６７Ｄ　1/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｊ　31/40
Ｇ０７Ｆ　13/10　Ｚ
Ｂ６７Ｄ　1/08　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月28日(2006.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
飲料または類似の服用可能な液体食品、詳細にはコーヒー、ミルク、ソフトドリンクまたはスープの分配装置であって、
食品を受け取るための容器（1）の縦の高さを検出し、高さ信号を送信するための識別手段（10）と、
高さが容器（1）に比例して調節可能な充填機構（10）と、
容器（1）に食品を充填する前に、高さ信号に応答して、容器（1）に対して充填機構（20）をプリセット可能な充填の高さに調節する制御手段（9）とを具備する分配装置。
【請求項２】
制御手段（9）は充填手順が完了した後、充填機構（20）は容器（1）の上の高さが最大である待機位置に移動させられるように設計されることを特徴とする請求項1に記載の分配装置。
【請求項３】
制御手段（9）は種々の充填の高さをメモリに保存可能なように設計されることを特徴とする請求項１または請求項２に記載の分配装置。
【請求項４】
種々の充填の高さは種々の食品に関係付けられて保存可能であることを特徴とする請求項3に記載の分配装置。
【請求項５】
識別手段（10）は少なくとも1つの充填状態センサー（15、16）を具備し、容器（1）に食品が充填されているとき、前記センサーにより容器（1）の最大充填状態が設定可能であることを特徴とする請求項１から請求項４のいずれか１項に記載の分配装置。
【請求項６】
識別手段（10）は、種々の識別信号に対応した高さ信号が保存されるプログラム可能メモリ（11）を具備することを特徴とする請求項１から請求項５のいずれか１項に記載の分

配装置。
【請求項７】
識別手段（10）は容器（1）の高さを検出するためのセンサー（14）を具備することを特徴とする請求項１から請求項６のいずれか１項に記載の分配装置。
【請求項８】
センサー（14）は光バリアとして構成されることを特徴とする請求項7に記載の分配装置。
【請求項９】
識別手段（10）は容器（1）上に設けられた情報を読み取るための読取手段（18）を具備することを特徴とする請求項１から請求項８のいずれか１項に記載の分配装置。
【請求項１０】
充填機構（20）の位置を調節し、特定の容器（1）に関連付けられた高さ信号を保存するための、手動で作動可能な調節手段（13）を有する学習手段（12）を特徴とする請求項１から請求項９のいずれか１項に記載の分配装置。
【請求項１１】
充填機構（20）は所定の位置に固定された容器置場（21）と、食品が供給手段（26，27）から出口を経て外部へと通過しなければならない距離が、容器置場（21）上の充填機構（20）の高さから独立しているように、食品供給手段（26，27）に接続される移動可能分配領域（22）とを具備することを特徴とする請求項１から請求項１０のいずれか１項に記載の分配装置。